

第17回

2005年度本大会開催!!



特別な
4000分の1

パーフェクトTVで放映されます

9月25日、第17回麻雀最強戦本大会が行われるその日、台風17号が関東に接近していた。一時は開催も危ぶまれたが、台風は開催地東京をそれ、無事最強戦は行われた。大会では、4人の読者代表が台風の目となった。

プロのいない決勝戦

決勝卓にプロの姿はなかった。16回の最強戦の歴史の中で初めてのことである。

理由は、読者代表が強かったから。プロ雀士たちは、準決勝までは強さを見せていた。準決勝ベスト16の中にプロ雀士は5人もいたのである。プロの出場者は18名。参加総数は136名。比率から見れば、ベスト16に残る人数は2・1人程度だ。その倍以上が勝ち残ったのだから、プロはそれなりの結果を残したと言えるだろう。

しかし、決勝に残った後藤正博、加藤忠文、大野勝彦、日永田一郎の4名は、間違いなく強かった。プロをなぎ倒して決勝に進出しただけのことはあったのだ。

加藤「チー」



チー ドラ

東1局3巡目。南家の加藤がいきなりカン(食)を食う。この鳴きそのものは非は問わない。加藤がいつもこのようなスタイルで打っているならば、大舞台